

平成24年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成24年3月30日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施に向けた推進体制の強化	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)	5
2 小峰城道場門遺構整備事業	6
3 歴史的まちなみ修景事業	7
4 歴史的風致形成建造物保存修景事業	8
5 無電柱化調査事業	9
6 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備検討事業	10
7 しらかわ歴史回廊事業	11
8 丹羽長重廟周辺整備事業	12
9 都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)整備事業	13
10 無形民俗文化財活動記録作成事業	14
11 しらかわ無形民俗芸能等支援事業	15
12 白河歴史教科書作成事業	16
13 ぐるり文化遺産めぐり事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	18
2 文化財の防災	19
3 文化財の保存活用のための施設等	20
文化財の保存及び活用の普及・啓発		
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 小峰城石垣修復へ万全 白河 文化庁長官が初視察	21
白河の魅力 再発見 寺院など文化遺産を散策		
歴史的建造物に親しむ 白河で景観・蔵ウオーク		
小峰城跡 国史跡拡大へ 丘陵北面5,040平方メートル追加		
古里の歴史 興味津々 白河の児童、小峰城跡見学		
2 古里の歴史理解深める 白河市教委の再発見事業	22
震災で石垣崩落の小峰城跡 谷地地形埋めて築城		
歴史的風致維持事業を報告 白河で協議会		
景観形成進ちよく確認 白河市歴史的風致維持向上計画協		
歴史的資源 活用法探る 白河「まちづくり」シンポジウム		
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上推進等調査「地域で循環	23
する歴史的建造物の修理システムの構築」		

口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	24
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

計画実施に向けた推進体制の強化

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を設置するとともに、「庁内推進本部」を組織し、円滑かつ効率的な事業推進を図る。また、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめとする関係各審議会の協力や関係部局との調整を行い、計画の実現を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①平成24年度の機構改革により、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり(歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化)、都市計画、文化財各部門の連携による足元の資源を活かしたまちづくりを推進するための体制を強化した。
- ②全庁的な連携による「白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部会議」並びに「調整会議」を開催した。
- ③「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画の推進や事業の実施について協議を行った。

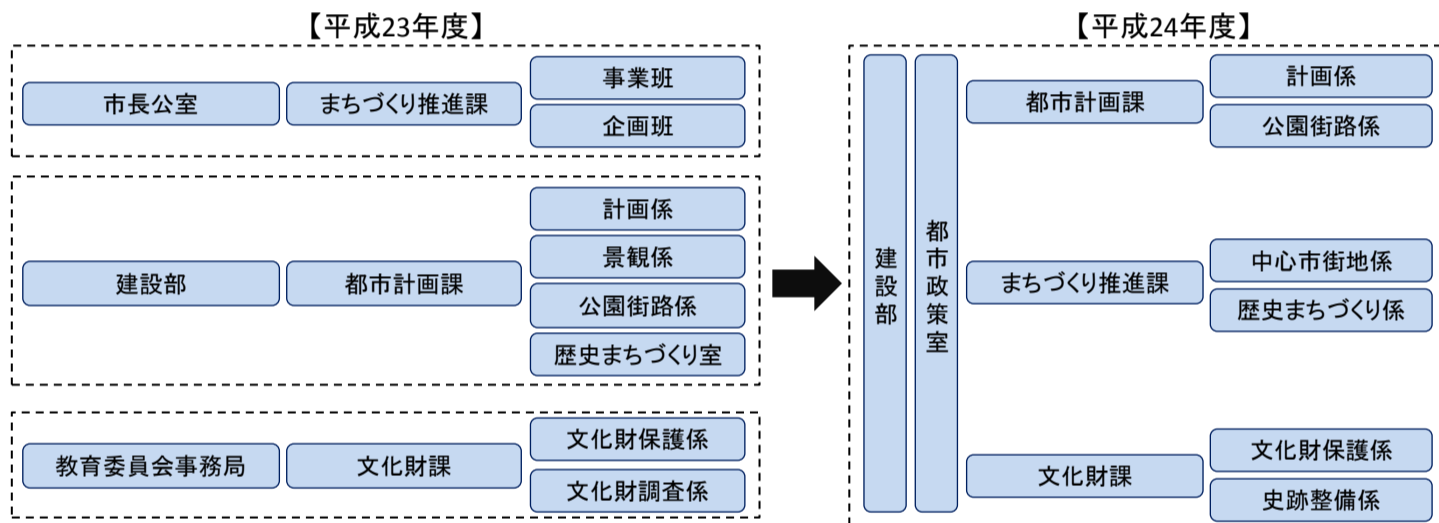
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

①平成24年度における機構改革の概要



②歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部・調整会議の開催

○第1回(合同会議:平成24年11月12日開催)協議事項

- ・平成24年度における計画及び事業の進捗
- ・小峰城跡災害復旧事業
- ・歴史的風致形成建造物の指定状況
- ・歴史的風致維持向上支援法人の活動状況

○第2回(調整会議:平成25年1月17日開催、推進本部会議:平成25年1月21日開催)協議事項

- ・平成24年度における計画及び事業の進捗
- ・平成25年度事業
- ・歴史的風致形成建造物の指定
- ・計画の変更



庁内推進本部会議

③歴史的風致維持向上計画協議会の開催

○第1回(平成24年11月22日開催)協議事項

- ・平成24年度における計画及び事業の進捗
- ・小峰城跡災害復旧事業
- ・歴史的風致形成建造物の指定状況
- ・歴史的風致維持向上支援法人の活動状況

○第2回(平成25年1月23日開催)協議事項

- ・平成24年度における計画及び事業の進捗
- ・平成25年度事業
- ・歴史的風致形成建造物の指定
- ・計画の変更



歴史的風致維持向上計画協議会

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成24年度
都市計画の活用	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 都市計画道路の見直しにおいても、歴史的町並みに配慮した計画及び整備を検討している。今後も、旧奥州街道や歴史的町並みに配慮した都市計画変更を検討する予定である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

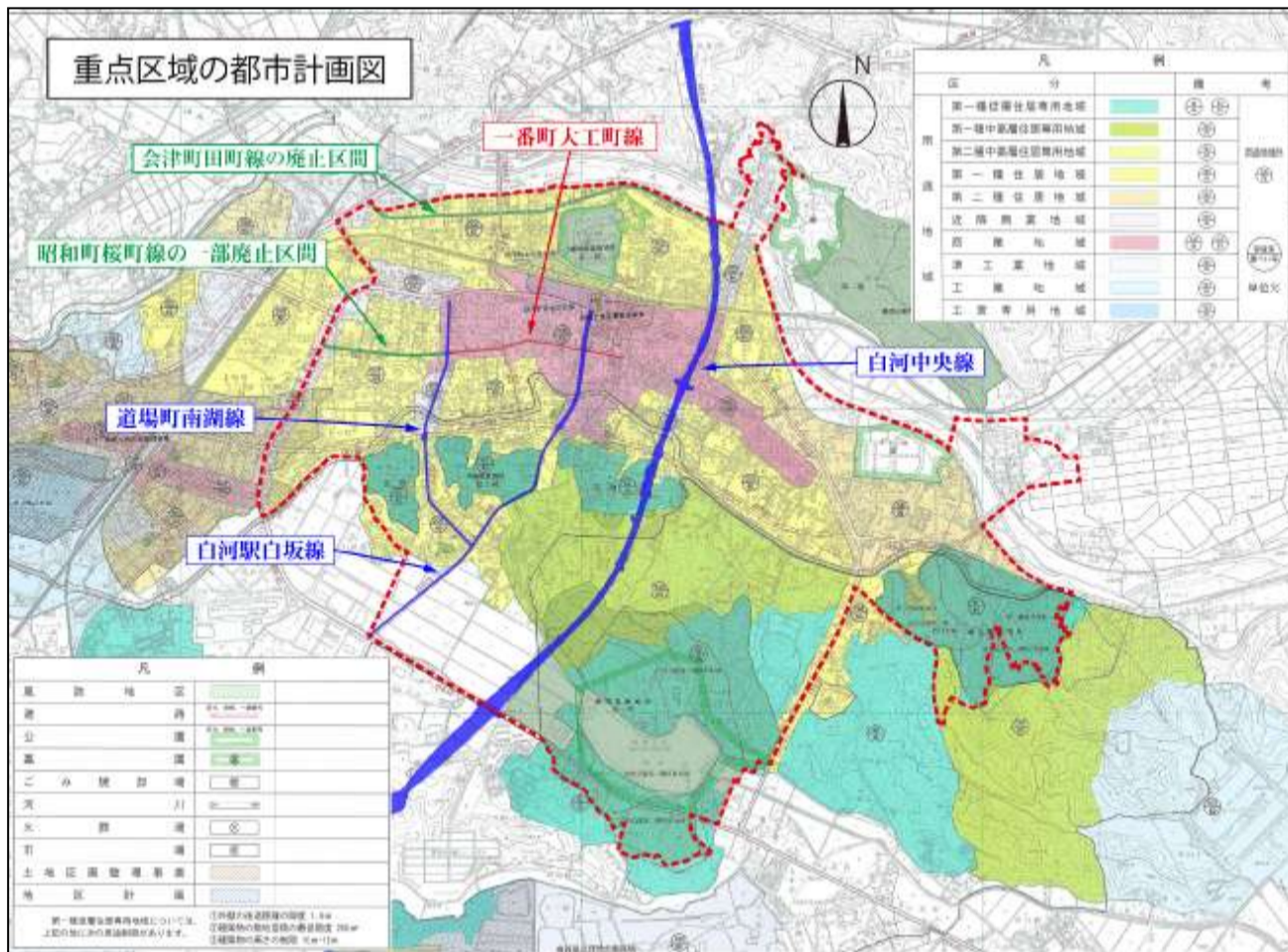
史跡小峰城跡の北側近接地を東西に通過する都市計画道路会津町田町線については、都市計画法に基づく手続きにより、平成25年3月27日に開催した「白河市都市計画審議会」において諮問し、廃止の答申を得た。白河中央線沿線まちづくり協議会において、都市計画道路白河中央線(国道294号白河バイパス)の整備とあわせた良好な景観の形成について啓発を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

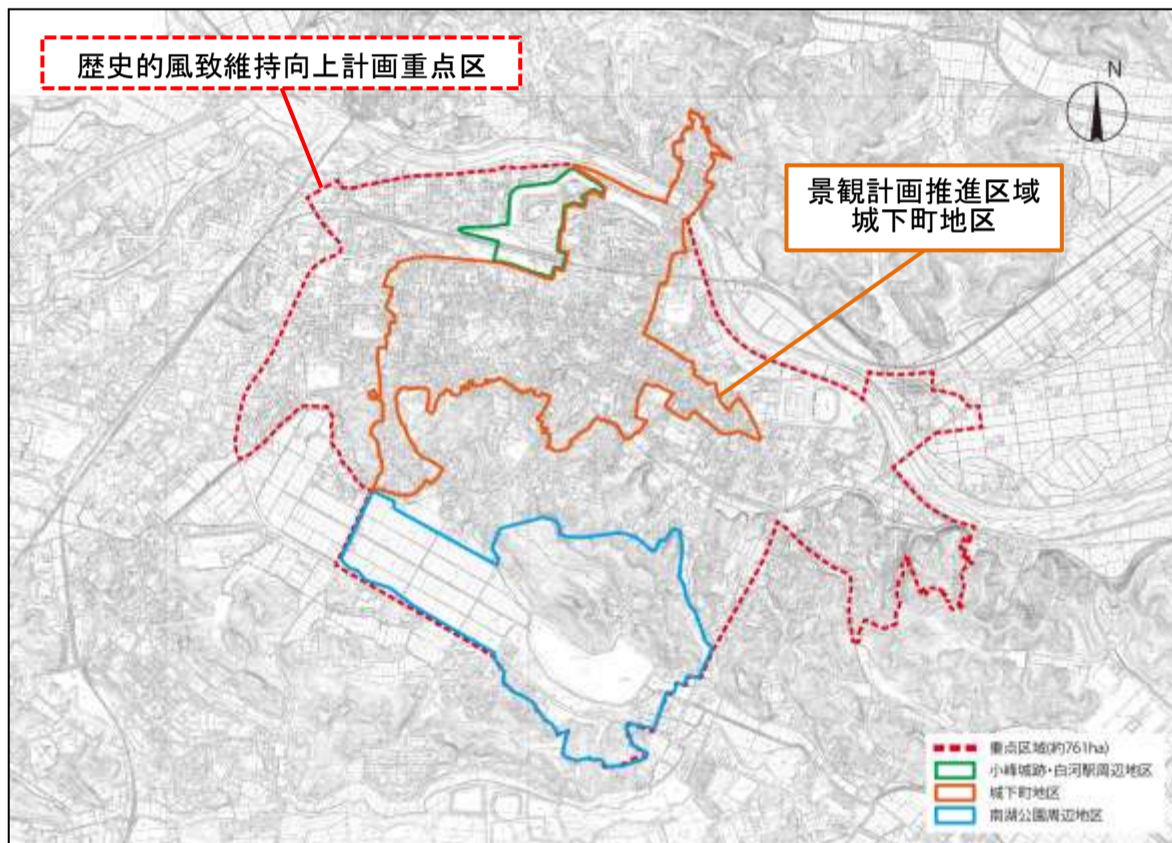


白河中央線沿線まちづくり協議会
(平成24年12月18日)

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成24年度
			現在の状況
景観計画の活用			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	城下町地区については、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。さらに今後、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画との整合を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧奥州街道等の一部は、歴史的風致形成建造物として指定したものの8割を超える建造物が集中している本市の歴史経緯を象徴する街道沿いであることから、景観計画の一部変更(平成25年3月13日告示)を行い、景観計画推進区域の中でも歴史的景観資源が豊富に存在する一部区域を「城下町地区重点推進区域」に指定し、今後、重点的に景観形成を推進することとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



景観計画推進区域 城下町地区
 景観計画推進区域 城下町地区重点推進区域

○城下町地区重点推進区域の範囲
 旧奥州街道(国道294号)の二番町から本町までと、
 県道白河石川線の本町から旭町までの区域の一部

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

屋外広告物について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 景観計画に基づき、白河市独自の屋外広告物条例の制定を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の維持向上に欠かすことのできない屋外広告物条例制定の内部研究として、現行制度に対する見直しの必要な区域の範囲や合意形成、調査業務の内容、詳細スケジュールの検討をまちづくり推進課内で行った。また、屋外広告物の先進的な取り組みを進める石川県金沢市を視察し、特徴的な制度の内容や活用の成果等についての情報収集を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

新たな屋外広告物条例の制定は、地域経済活動への規制に直結するため、綿密な現状把握調査や分析整理等、慎重な対応が必要である。

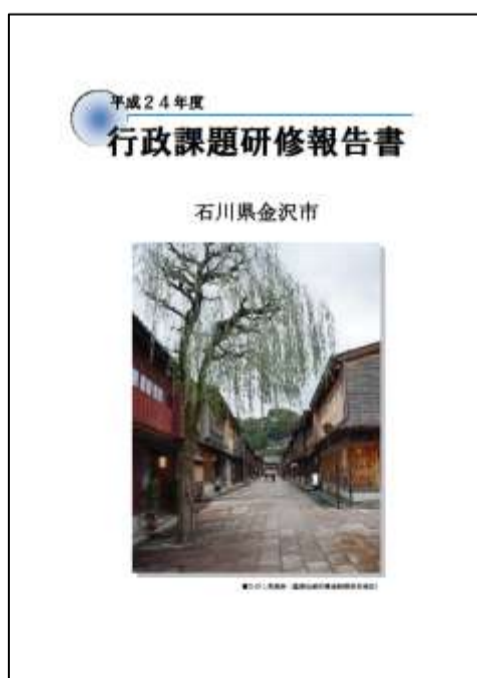
状況を示す写真や資料等



国道289号ロードサイドの店舗立地等に伴う屋外広告物



南湖公園の歴史的風致や周辺景観に影響を及ぼしている屋外広告物



先進地視察報告書

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成24年度 現在の状況
小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業補助金		
計画に記載している内容	平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行う。平成25年度以降については、検証結果をもとに順次崩落箇所を計画的に行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東日本大震災により崩落した石垣の修復について、保存管理計画策定委員会内に設置した石垣検討部会において崩落原因の究明にあたりるとともに、崩落箇所10箇所(1箇所は平成23年度繰越事業)について崩落石材の撤去工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



石材撤去途中の本丸南面



石材撤去の終了した本丸南面



石材撤去が終了した本丸西面



石材撤去が終了した本丸北面東



石垣検討部会

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成24年度
		現在の状況	
小峰城道場門遺構整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成24年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 小峰城道場門遺構の調査・測量・設計等を行い、遺構面を保護する等の露出展示による整備を実施し、賑やかなまちなか再生のため整備を図るイベント広場と連携して一般公開することにより、多くの市民に道場門の歴史的役割を伝え、その理解を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に実施した測量設計を基に、小峰城道場門の遺構である石垣の露出展示や門の位置を示す礎石の設置、白河石による石畳舗装の整備等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 多くの市民に対し、歴史遺産への理解の醸成を図るため、道場門が果たした歴史的役割の周知に努める必要がある。

状況を示す写真や資料等



奥州白河城下全図にみる道場門



白河駅前イベント広場と一体となった整備



江戸時代の石垣を露出展示



門の位置を示す礎石の設置

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成24年度 現在の状況
歴史的まちなみ修景事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。 ○対象エリア:景観形成ガイドラインAゾーン、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域 ○補助件数:2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的まちなみ修景事業の積極的な推進を図るため、補助制度の周知に努める必要がある。		

状況を示す写真や資料等

施工前

施工後



店舗の新築(勾配屋根・庇・付柱・窓格子の設置)



擁壁の遮蔽(生垣の設置)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修景事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、歴史的建造物の保全と活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に対する支援について、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により実施した。
 ○歴史的風致形成建造物指定件数: 36件96棟(平成25年3月末現在)
 ○補助件数: 6件9棟

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	土壁や屋根瓦等の修理については、職人不足等により伝統工法による修理が難しい状況となっていることから、伝統的技術伝承事業と一体となった取り組みを推進する必要がある。

状況を示す写真や資料等



屋根修理・板壁設置



屋根・外壁・庇・修理



外壁・なまこ壁修理

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～
支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭礼運行の支障や景観阻害要因となっている電線・電柱類について、道路管理者、事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行う。

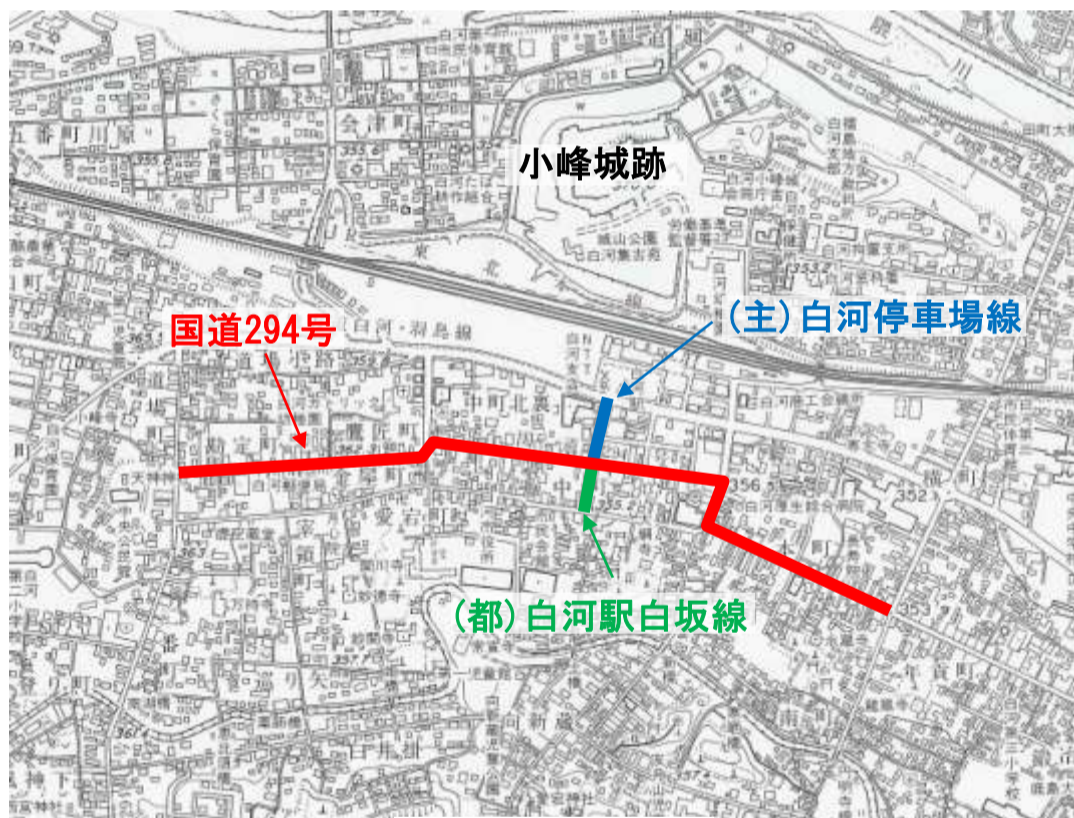
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

白河提灯まつりの運行ルートや白河だるま市の開催場所、小峰城跡三重櫓を視対象とした視点場となっている主要な路線について、現況調査を実施した。調査対象路線は、全区間調査実施済。
 ○調査路線: 国道294号(天神町から本町間の1,320.5m)、主要地方道白河停車場線(大手町から中町間の115.5m)、都市計画道路白河駅白坂線(中町から大工町間の68.0m)
 ○調査項目: 埋設物調査(上水道、下水道、ガス管、暗渠等)、沿道調査(電柱、信号、街路灯、標識、バス停留所等)、道路構造調査(車道幅員、歩道幅員等)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



調査路線図



白河提灯まつり開催状況(運行支障)



白河だるま市開催状況(景観阻害)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備検討事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 明治天皇や新撰組が宿泊した等の歴史的由緒を持ち、旧城下町に残る貴重な歴史的資源となっている旧脇本陣柳屋旅館建造物群(歴史的風致形成建造物)について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備の検討など、まちなか回遊の拠点にふさわしい整備に向けた基礎的調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

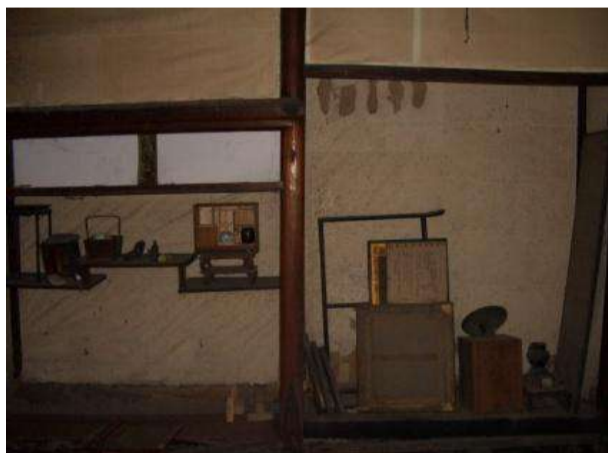
蔵座敷の管理運営、利活用案について、関係機関(本町町内会、本町地区まちづくり協議会、財団法人白河観光物産協会、福島県等)との協議を行い、整備方針の策定に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



古写真で見る蔵座敷内部



現在の蔵座敷内部



古写真で見る蔵座敷正面



現在の蔵座敷正面

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
しらかわ歴史回廊事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的建造物、歴史的資源、店舗等を結ぶ歩行系誘導サインを設置し、まちなか回遊性の向上を図る。また、これら歴史的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

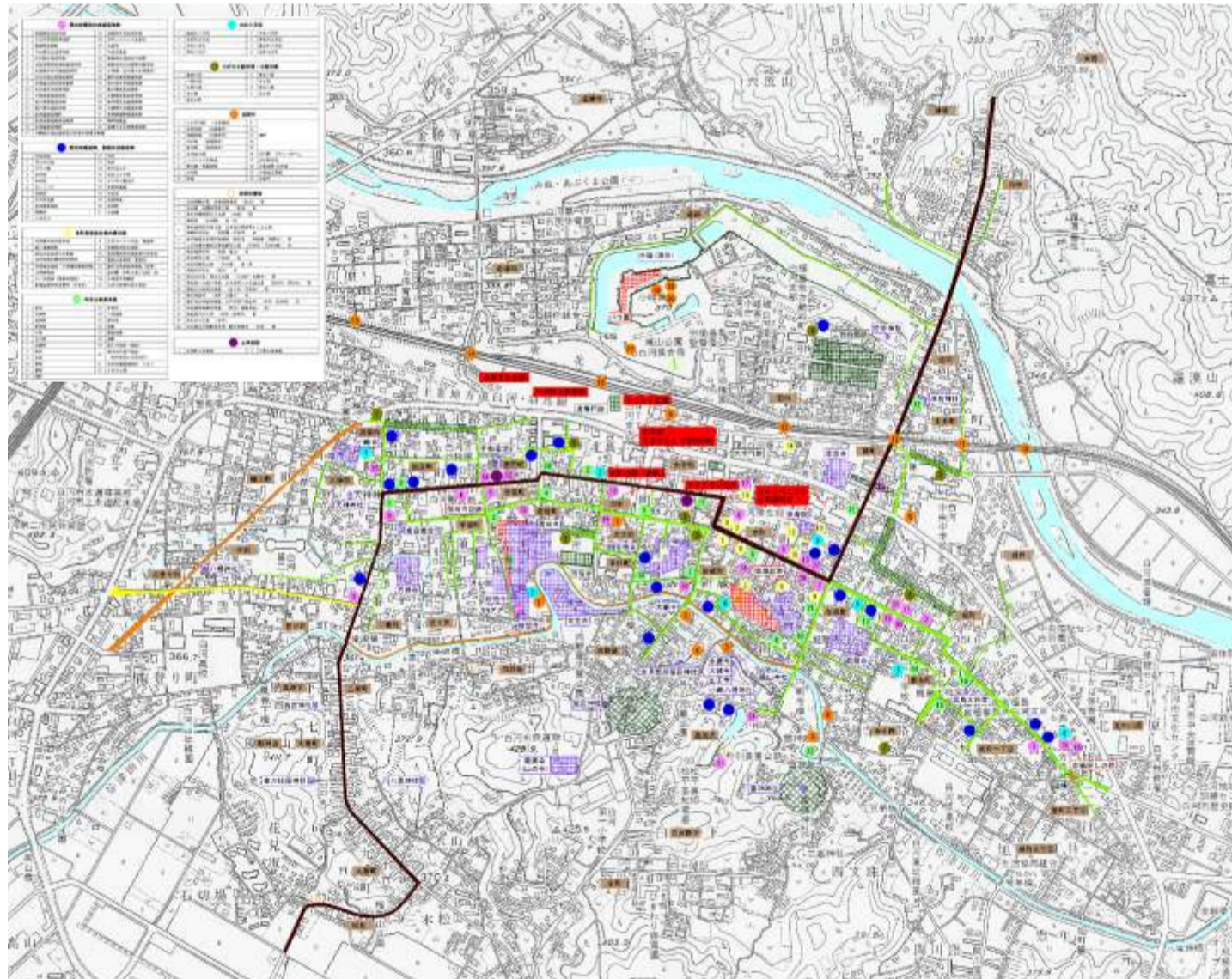
歩いて楽しむ白河の歴史回遊ルートについて、既存の街歩きマップに歴史的資源等をプロットした資料を基に、関係機関と検討作業を行い、回遊ルートマップ(案)、歩行系誘導サイン設置計画の策定に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



回遊ルートマップ(案)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

丹羽長重廟周辺整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 白河藩主丹羽長重の霊廟及び白河藩大名家墓所(小南湖)を「歴史的風致形成建造物」に指定し、廟の修復整備とともに、その周辺の回遊性を高めるため、園路の整備、景観上支障となる森林伐採整備等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

老朽化の著しい丹羽長重廟について、修復整備のための設計を実施した。

○修復設計面積:50㎡

管理上及び景観上支障をきたしている丹羽長重廟周辺の樹木について、間伐を実施した。

○間伐本数:12本

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



丹羽長重廟



廟基礎部の損傷状況



間伐前



間伐後

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業))

計画に記載している内容 都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

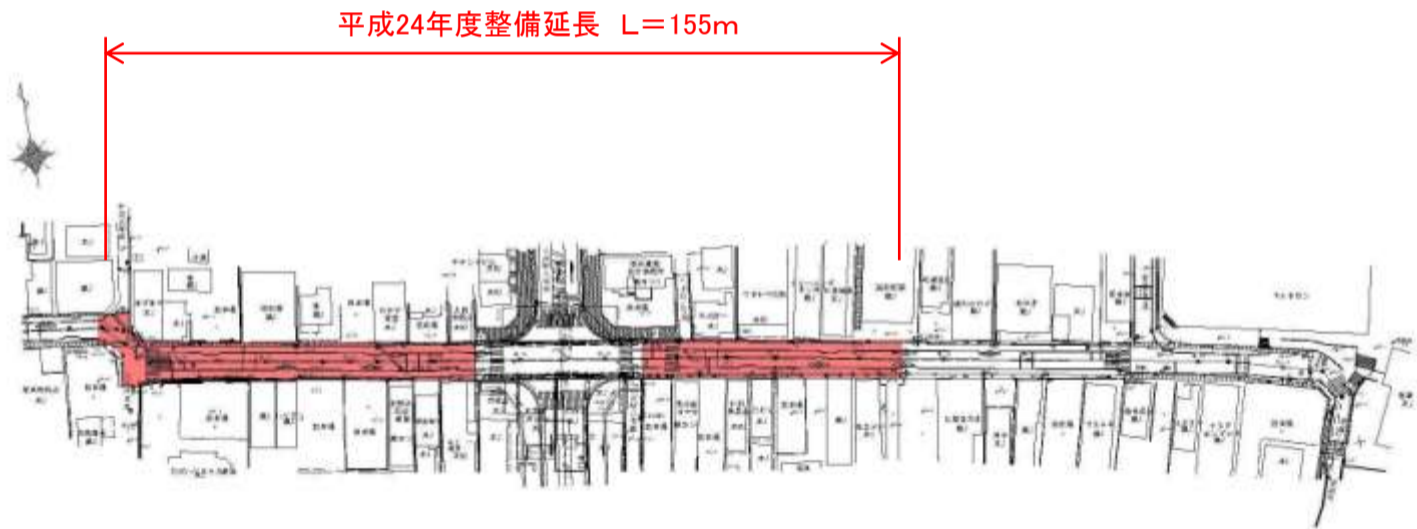
愛宕町及び大工町において、石畳舗装の整備を実施した。
沿線3町内による「金屋町・愛宕町・大工町通り景観まちづくり協議会」が開催され、景観協定の締結を目指す取り組みが行われた。

○平成23年度整備延長 : L=300m、平成24年度整備延長 : L=155m、全体整備延長 : L=823m(進捗率:55.2%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後(石畳による舗装)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
無形民俗文化財活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 地域に根差した民俗・芸能活動は、住民生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域に根ざした民俗・芸能活動については、活動内容の詳細な調査を行うとともに、映像による活動の記録化に着手した(4団体)。併せて、写真による活動内容の記録も行った(14団体)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	十日市ちょうちん祭りや河東田牛頭天王祭など夜間に行われる活動については、機器の精度の問題もあり、新たな記録化の方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



八雲神社祭礼各戸訪問の様子(皮籠地区)



八雲神社祭礼各戸お払いの様子(三輪台地区)



下新城の天王祭出発時の様子(大信下新城)

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
しらかわ無形民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	無形民俗文化財の保存団体を対象に、民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、活動の公開事業に対して財政支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗芸能等活動は、後継者不足が加速し活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき10の保存団体を対象に、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



奥州白河歌念仏踊(大和田地区)
大和田地区長寿会:太鼓の皮補修



釜子の盆踊り
釜子青年統一会:櫓修理



河東田牛頭天王祭
河東田町内会:太鼓補修



十日市ちょうちん祭り
十日市町内会:提灯補修

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成24年度
		現在の状況	
白河歴史教科書作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)

計画に記載している内容 白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史の手引きの製作を行う。さらには、「(仮称)しらかわ検定」の開催を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「白河の歴史を見て・ふれて・感じる」をテーマに、市内を小峰城、城下町、南湖公園、歴史的街道エリアに分け、さらには、歴史的風致(白河提灯まつり・白河だるまと白河だるま市・酒造業にみる醸造業・南湖公園の行楽・天道念仏と太鼓芸にみる民俗行事)の内容を織り交ぜながら、足元に残る歴史的資源を再発見するための「入門編」を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



白河歴史の手引き「れきしら」入門編

《主な内容》

- 白河の歴史概要
- 歴史を探そう
 - ・小峰城エリア
 - ・城下町エリア
 - ・南湖エリア
 - ・白河関・奥の細道
 - ・奥州街道エリア
 - ・会津街道エリア
 - ・棚倉街道エリア
 - ・石川街道・水戸街道エリア
- 歴史を学ぼう
 - ・白河提灯まつり
 - ・白河だるまと白河だるま市
 - ・白河の酒造業
 - ・祭りと民俗行事 など

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成24年度
		現在の状況	
ぐるり文化遺産めぐり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出するため、城下町ゾーンの寺社を中心に、あわせて歴史的・文化的資源をチェックポイントとするスタンプラリーを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
期間中、オリジナル図柄のスタンプを寺院等に配置し、春は、「桜の名所と小路めぐり」をテーマに、桜の名所となっている寺院とまちなかに残る小路を巡るツアーを開催した。秋は、「お寺巡りコース」と「戊辰巡りコース」を設定し、ツアーを開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	寺院を巡る際の「御朱印」記帳については、各寺院の足並みが揃っていないことから、関係機関と調整を図る必要がある。		

状況を示す写真や資料等



開催案内チラシ



歴史的風致形成建造物を見学(春ツアー)



小南湖を見学(秋ツアー)

○ぐるり白河文化遺産ツアー「桜の名所と小路めぐり」

- ・開催日:平成24年4月21日(土)
- ・参加者数:50名

○ぐるり白河文化遺産ツアー「お寺巡りコース・戊辰巡りコース」

- ・開催日:平成24年10月27日(土)
- ・参加者数:50名

ぐるり白河文化遺産ツアーアンケート集計結果(抜粋)

- 参加した感想
 - ・良かった 100%
- 自由意見
 - ・歴史のある落ち着いたまちであると感じた。
 - ・今まで知らなかった地元の歴史が分かり勉強になった。
 - ・白河には見どころがたくさんあることが分かった。
 - ・歴史が苦手な私にも分かりやすくて良かった。

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財の修理(整備を含む)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

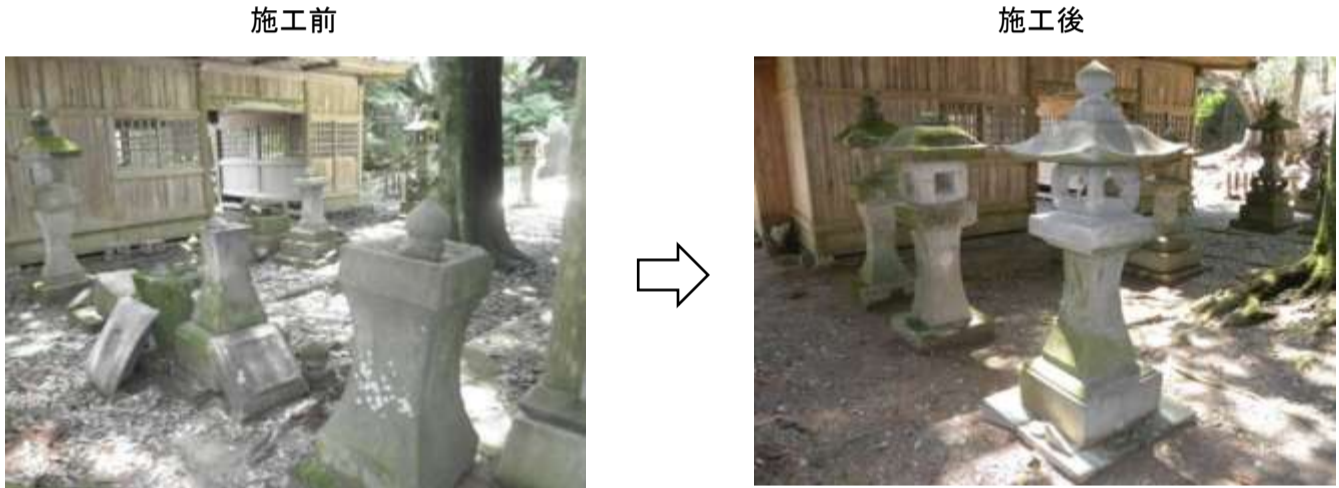
計画に記載している内容 指定文化財の現状把握に努め、損傷具合等により優先順位を決め修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小峰城跡の石垣崩落石材の撤去作業を実施した。(5頁参照)
市指定史跡「境の明神」の灯籠等の修復を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財をより良い状態で後世に伝えるため、文化財の本質的価値を損なうことなく、計画的に修理に取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等



境の明神の灯籠修復

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財防火デーに併せ、火災防御訓練を実施することにより、住民が地域に残る貴重な文化財を自分たちで守っていくという意識付けを行うとともに、消火器などを実際に使うことにより、火災防御のレベルアップを図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーにあわせ、県指定文化財「金銅装束」を保管している清水寺(表郷金山)において、防火訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	さらなる防災体制の強化に努めるとともに、地震や盗難等に対する防災計画の検討が必要である。

状況を示す写真や資料等



文化財防火デー
(平成25年1月27日:清水寺)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存活用のための施設等 文化財の保存及び活用の普及・啓発 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存活用のため、計画的に文化財の説明看板の設置を図る。また、文化財の公開に努め、文化財保護精神の普及・啓発を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存活用のための施設等 計画に基づき、指定文化財の説明看板8基を設置した。 文化財の保存及び活用の普及・啓発 震災により崩落した小峰城跡の石垣見学会を開催した。 			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	小峰城跡石垣修復に対する理解と関心を深めるため、修復経過の積極的な公開に努める必要がある。		

状況を示す写真や資料等



小峰城跡石垣見学会
(平成24年9月9日:250名参加)



指定文化財の説明看板(建鉾山祭祀遺跡)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
小峰城石垣修復へ万全 白河 文化庁長官が初視察	H24.4.21	福島民友
白河の魅力 再発見 寺院など文化遺産を散策	H24.4.23	福島民友
歴史的建造物に親しむ 白河で景観・蔵ウォーク	H24.6.3	福島民友
小峰城跡 国史跡拡大へ 丘陵北面5,040平方メートル追加	H24.6.16	福島民友
古里の歴史 興味津々 白河の児童、小峰城跡見学	H24.6.28	福島民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画の核となっている史跡「小峰城跡」について、史跡指定エリアの拡大や石垣修復に関する話題等が新聞に掲載され、小峰城跡の復興に対する関心が高まった。
歴史的風致形成建造物や寺院等を見学するイベントが新聞に掲載され、歴史まちづくりに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	地元の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、新聞等のメディアを通じて歴史まちづくりの取り組みを積極的にPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等



平成24年6月16日 福島民友



松島家藏座敷建造物群を見学する参加者

歴史的建造物に親しむ
白河で景観・蔵ウォーク

白河市に残る歴史的な街並みなどを巡る第5回「白河まちなか歴史景観・蔵ウォーク」は2日、同市内で開かれ、参加者が現代に息づく城下町の情緒に触れながら白河の魅力を見学した。同日、NPO法人しらかわ建築サポートセンターの主催で、国の認定を受けた歴史まちづくり計画に基づいて指

定されている市内の歴史的風致形成建造物群などを巡り、景観資源への理解を深めてもらうのが目的。市民ら約50人が参加した。今回は明治時代の建造で蔵座敷を持つ「松島家藏座敷建造物群」、大きな蔵のある地酒蔵元「千駒酒造建造物群」、江戸時代から伝わるという銅鐘がある「龍藏寺」など14カ所を見学。参加者は歴史的な建造物群を訪れ、内部見学も交えながら所有者らの説明に耳を傾けた。

平成24年6月3日 福島民友

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
古里の歴史理解深める 白河市教委の再発見事業	H24.6.7	福島民報
震災で石垣崩落の小峰城跡 谷地地形埋めて築城	H24.9.4	福島民報
歴史的風致維持事業を報告 白河で協議会	H24.11.24	福島民報
景観形成進ちよく確認 白河市歴史的風致維持向上計画協	H25.1.25	福島民報
歴史的資源 活用法探る 白河「まちづくり」シンポジウム	H25.2.11	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画の実施に係る連絡調整等を行う「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」の開催状況や、歴史まちづくりシンポジウムの模様が新聞に掲載され、歴史まちづくりの取り組みに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	地元の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、新聞等のメディアを通じて歴史まちづくりの取り組みを積極的にPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等

歴史的風致維持事業を報告 白河で協議会
地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(歴史まちづくり法)に基づき、今年度二回目の白河市城道場門遺構整備や、本町にある新選組ゆかりの旧藤本陣御屋敷跡、建造物整備、白河歴史教科書作成など十五事業について進ちよく状況が報告された。また、東日本大震災により十力所が大幅損壊した小峰城の石垣撤去の経過と、今年度実施する予定の調査結果なども報告された。

平成24年11月24日 福島民報

景観形成進ちよく確認
白河市歴史的風致維持向上計画協
保存建造物4件8棟候補
市、駅前道路無電柱化へ

平成25年1月25日 福島民報

歴史的資源活用法探る
白河「まちづくり」シンポジウム
200人の市民熱心に聴講

平成25年2月11日 福島民報

評価軸⑥-1
その他

	評価対象年度	平成24年度
--	--------	--------

項目
歴史的風致維持向上推進等調査「地域で循環する歴史的建造物の修理システムの構築」

計画に記載している内容
石材加工、葺修復(漆喰)等の伝統技術に関しては、後継者育成に対する見習い期間等の雇用に要する費用の一部について支援を行い、伝統的技術者の育成を図るため、平成25年度より「伝統的技術伝承事業」の実施を予定しているが、東日本大震災により甚大な被害を受けた歴史的建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するための取組みを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)が主体となり、歴史的風致維持向上推進等調査を活用し、古民家や土蔵をモデルとした修理工事の実施や専門家を招いた研究会の開催、歴史的建造物の所有者を対象とした伝統工法の魅力説明会等を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



伝統工法による古民家の土壁塗り
(平成24年10月14日)



伝統工法による土蔵の土壁塗り
(平成24年10月21日)



瓦屋根の実測
(平成24年11月14日)



伝統工法に使用する土壁の土探し
(平成24年11月14日)

評価対象年度	平成24年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成24年度第2回白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成25年1月23日(水)午後3時～5時	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○進捗評価シート全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方針に基づき計画を推進する中で、各事業の着手済、未着手といったものが全体像として見える形であれば分かりやすい。また、施策体系と、実際の整備箇所がセットとなったものが資料であれば、進捗状況等が良く理解できるのでは。 ・評価のものさしの作り方は難しく、工夫が必要なところである。事業の中間段階でこのような効果が出ているということを知りやすく説明していくのが必要であるかと思う。 ・工程表のようなものがあれば、事業の流れは一目瞭然で、それが市民にも深く理解していただける一つの手段かと思うので、それをお願いできればと思う。 <p>OP7「歴史的まちなみ修景事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなみは正面のファサードの化粧だけでなく、建物の位置そのものが揃わないと難しいので、駐車場の取り方を懸念している。 ・若い世代と親の世代でお互い納得いくような建物を建てるというのはすごく難しいことではないか。 ・協定や計画等を作れば皆が理解するというものではなく、町内会やまちづくり協議会等でお集まりいただきながら、その都度丁寧に説明して、具体的な事例の中で意見を交換し、合意をしていくことを積み重ねるしか方法はないと思われる。 <p>OP18「白河歴史教科書作成事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書として学校で使用させるだけなのか、一般の方にも配布されるのか。子どもだけでなく、一般の方も対象とし、市民が全体的にこれを熟知するような形で広めていけたら良いと思う。 ・歴史教科書は、タクシー会社やバス会社等、観光に携わるところにも配布してはどうか。 <p>OP20「文化財の保存及び活用の普及・啓発」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小峰城跡石垣見学会の呼び掛けはどの範囲で行ったのか。城の愛好家は全国におり、東北最大規模の被災状況を見ることが出来る機会はそうないので、そういう方々にも情報が発信されると良い。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○進捗評価シート全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の事業の進捗状況だけでなく、全体的な動きが分かるような資料を作成し、次回の会議に提示する。 <p>OP7「歴史的まちなみ修景事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的まちなみ修景事業の積極的な推進を図るため、引き続き、補助制度の周知に努める。 <p>OP18「白河歴史教科書作成事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史教科書は、小中学校に配布するほか、公共機関の窓口等にも配置してPRを図り、(仮称)しらかわ検定の受講希望者に配布予定。タクシー会社やバス会社等への配布については検討する。 <p>OP20「文化財の保存及び活用の普及・啓発」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館や集古苑等に案内チラシを設置したほか、市ホームページや観光物産協会ホームページ、新聞報道等で周知を図っており、今後も市内外を問わず、広く周知に努めたい。 	